

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年10月29日から2024年12月19日（当初、無期限）	
運用方針	主として国内外の投資信託証券（以下「投資対象ファンド」といいます。）への投資を通じて、世界の市場株式にアクティブに投資することで、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。
	投資対象ファンド	<p>アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレイズ（Mシェアクラス）</p> <p>日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。</p> <p>アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・マザー・ファンド</p> <p>円建ての公社債を主要投資対象とします。</p>
運用方法	当ファンド	主として国内外の投資対象ファンドへの投資を通じて、世界の市場株式にアクティブに投資することで、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
	投資対象ファンド	<p>アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレイズ（Mシェアクラス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主として、世界の市場株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ●市場動向によっては、非市場株式および債券等に投資を行う場合があります。 <p>アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・マザー・ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本邦通貨表示の公社債等に投資を行い、利息等収入の確保を目指して運用を行います。 ●日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものをベンチマークとし、これを中心・長期的に上回る運用成果を目指します。
組入制限	<p>1 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>2 株式への直接投資は、行いません。</p> <p>3 外貨建資産への直接投資は、原則として行いません。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。</p> <p>②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

アクサ世界株式ファンド

追加型投信／内外／株式

償還運用報告書（全体版）

（償還日 2024年12月19日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ世界株式ファンド」（以下、「当ファンド」といいます。）はこのたび、信託約款の規定に基づき2024年12月19日に繰上償還いたしました。

当ファンドは、投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の株式に投資することにより信託財産の成長を目指しました。

ここに、設定来の運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
 東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
 電話番号：03-5447-3160
 受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率				
(設 定 日) 2021年10月29日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 5
1 期(2022年 4 月18日)	9,609	0	△ 3.9	0.1	99.4	—	15
2 期(2022年10月17日)	9,040	0	△ 5.9	0.0	—	99.2	21
3 期(2023年 4 月17日)	9,439	0	4.4	0.0	—	99.5	29
4 期(2023年10月16日)	10,089	0	6.9	0.0	—	99.3	33
5 期(2024年 4 月16日)	12,200	0	20.9	0.0	—	99.3	50
6 期(2024年10月16日)	13,136	0	7.7	0.0	—	99.4	56
(償 還 日) 7 期(2024年12月19日)	(償還価額) 13,938.78		6.1	—	—	—	34

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドは「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」を組み入れますので、「公社債組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■当期中の基準価額の推移

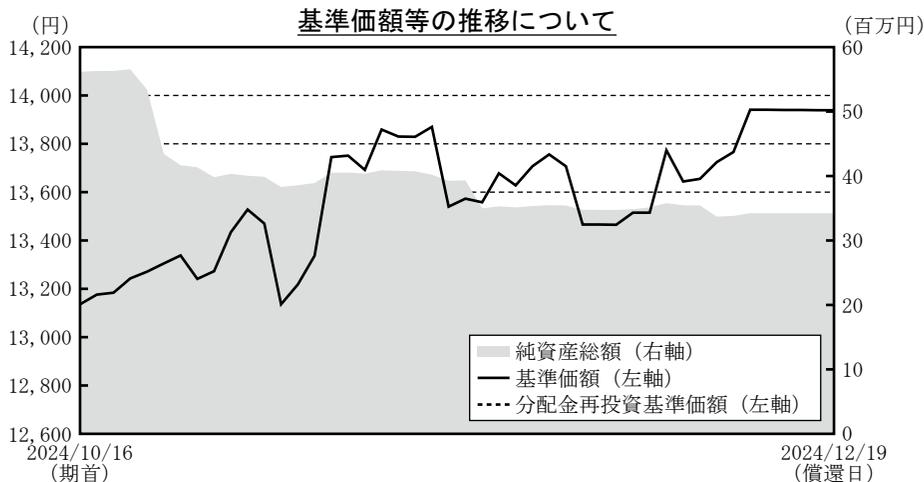
年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2024年10月16日	円 13,136	% —	% 0.0	% —	% 99.4
10月末	13,470	2.5	0.0	—	99.1
11月末	13,466	2.5	0.0	—	98.9
(償 還 日) 2024年12月19日	(償還価額) 13,938.78	6.1	—	—	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドは「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」を組み入れますので、「公社債組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■当期の運用状況（2024年10月17日～2024年12月19日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、主として保有している株式の株価が上昇したことがプラスに寄与して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

【投資環境について】

当期のグローバル株式市場は、米大統領選後の米国株上昇によって当初押し上げられましたが、当期間全体では下落しました。トランプ新政権の成長促進政策に対する楽観的な見方が薄れ始めるとすぐに、インフレの持続や世界貿易への関税の影響を巡る懸念が株式市場で台頭し始めました。中国と欧州の景気低迷もそれぞれの国内市場を圧迫しました。12月の欧州製造業PMIは2025年もマイナス成長が続く可能性が高いことを示唆しています。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

当期も主要投資対象ファンドである外国投資信託証券「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンズ (Mシェアクラス)」を高位に、国内籍投資信託「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」を低位に組み入れた運用を行ないましたが、2024年12月19日の繰上償還に向け、組み入れていた投資対象ファンドはすべて2024年12月11日に売却しました。各投資対象ファンドにおける運用経過は以下のとおりです。

○アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンズ (Mシェアクラス)

当ファンドの当期のパフォーマンスは、主にヘルスケアや通信サービスセクターでの銘柄選択が好調だったことにより、MSCIオール・カンントリー・ワールド指数に代表されるグローバル株式市場全体のパフォーマンスを上回りました。

「高齢化とライフスタイル」分野に関連するヘルスケア企業が当期間のパフォーマンスへのプラス寄与度で上位に入りました。米国の医療機器会社GLOBUS MEDICALは好調な2024年7-9月期決算を発表し、最近買収した医療機器会社NU VASIVEの統合が市場予想を上回る速さで進んでいることを示しました。米国の医療機器メーカーDEXCOMの2024年7-9月期決算で新規患者の受け入れ開始が発表され持続血糖モニタリングの市場シェアの下げ止まりを投資家が確信したことにより、同社の株価は7月以降の下落分の一部を取り戻しました。

一方で、米国のテクノロジー企業UBER TECHNOLOGIESが当期間の主要なマイナス寄与銘柄となりました。米国の自動運転車開発企業WAYMOが2025年に米国で事業を拡大する計画であるとの発表を受け、市場シェアを失うのではないかと懸念が生じたことにより、同社の株価は下落しました。

過去2か月間の顕著な変化としては、米国の化粧品会社ESTEE LAUDER株の売却と、売却で得た資金でフランスの化粧品会社L'OREALへの再買付が挙げられます。コロナ禍後の美容業界は大量の在庫と消費者の購買習慣の変化に直面しています。L'OREALは競合他社よりも優れた商品カテゴリー管理を行っており、より良い提案を顧客に提供して市況回復を業績向上につなげることができると当社は考えています。12月には、本ポートフォリオで保有していた中国の電子商取引大手ALIBABA株を売却し、これに代えて、より高い成長とより有利な競争上の地位を期待できる中国のオンライン旅行プロバイダーのTRIP.COMの株式を購入しました。

○アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド

高格付サムライ債をポートフォリオの20%程度、高格付国内事業債を30%程度保有することによりベンチマークを上回る運用リターンを目指すと同時に、国債、地方債、機構債を50%程度保有することにより流動性を確保しております。平均残存年限は10.2か月、加重平均格付けはAプラスとなっております。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは運用の基本方針または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

該当事項はありません。

■ 1万口当たりの費用明細 (2024年10月17日～2024年12月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0.148%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は13,589円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.116)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.029)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.004)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	20	0.148	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れている「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

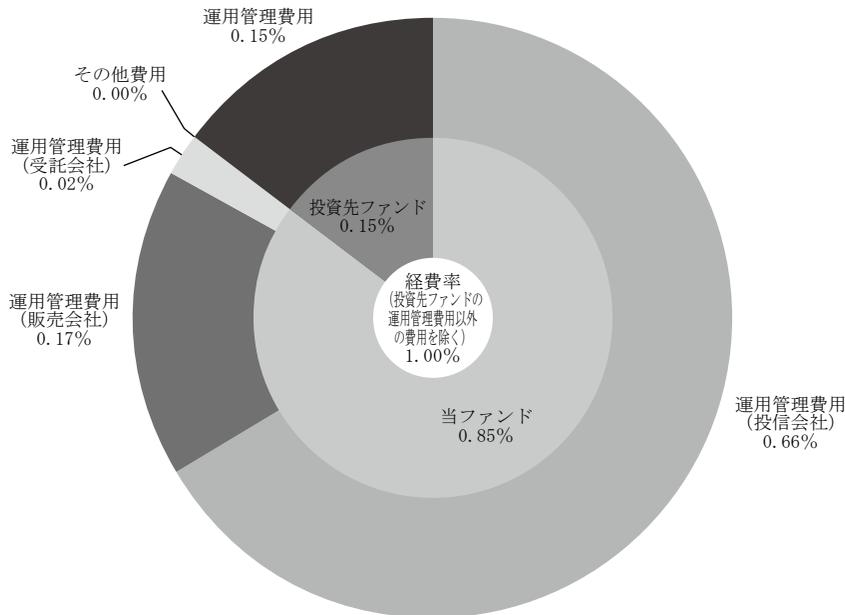
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、ファンドが組み入れている「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレイズ (Mシェアクラス)」が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1%です。

経費率 (①+②)	1.00%
①当ファンドの費用の比率	0.85%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンドズ (Mシェアクラス)」です。

(注5) ①の費用は、「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」が支払った費用を含み、「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンドズ (Mシェアクラス)」が支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 「アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンドズ (Mシェアクラス)」には運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■売買及び取引の状況（2024年10月17日～2024年12月19日）

(1) 投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンドズ (Mシェアクラス)	千口 —	千日本・円 —	千口 4,182,612	千日本・円 58,299

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド	千口 —	千円 —	千口 9	千円 10

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2024年10月17日～2024年12月19日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2024年10月17日～2024年12月19日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細

償還日現在、有価証券の組入はありません。

■投資信託財産の構成

(2024年12月19日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 34,292	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	34,292	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 比率は、投資信託財産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示。

■資産、負債、元本および償還価額の状況

(2024年12月19日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	34,292,537円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	34,292,434
未 収 利 息	103
(B) 負 債	59,378
未 払 信 託 報 酬	59,378
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	34,233,159
元 本	24,559,644
償 還 差 損 益 金	9,673,515
(D) 受 益 権 総 口 数	24,559,644口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額 (C / D)	13,938円78銭

1. 期首元本額 42,766,077円
 期中追加設定元本額 978,902円
 期中一部解約元本額 19,185,335円
2. 1口当たり純資産額 1.393878円

■損益の状況

当期 (自 2024年10月17日 至 2024年12月19日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	719円
受 取 利 息	719
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,006,505
売 買 益	2,397,139
売 買 損	△ 390,634
(C) 信 託 報 酬 等	△ 59,378
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,947,846
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	6,026,611
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,699,058
(配 当 等 相 当 額)	(1,333,747)
(売 買 損 益 相 当 額)	(365,311)
(G) 計 (D + E + F)	9,673,515
償 還 差 損 益 金 (G)	9,673,515

(注1) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2021年10月29日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年12月19日		資産総額	34,292,537円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	59,378円
				純資産総額	34,233,159円
受益権口数	5,490,000口	24,559,644口	19,069,644口	受益権口数	24,559,644口
元本額	5,490,000円	24,559,644円	19,069,644円	1万口当たり償還金	13,938.78円

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	16,004,637	15,378,885	9,609	0	0.00
第2期	23,530,591	21,272,051	9,040	0	0.00
第3期	31,187,444	29,439,087	9,439	0	0.00
第4期	33,245,853	33,542,446	10,089	0	0.00
第5期	41,505,722	50,637,245	12,200	0	0.00
第6期	42,766,077	56,176,393	13,136	0	0.00

■償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）13,938円78銭

アクサ ローゼンバーグ・ 日本円マネー・プール・マザー・ファンド

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保を図ることを目標に運用を行うことを基本方針とします。
主要運用対象	円建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ●本邦通貨表示の公社債等に投資を行い、利息等収入の確保を目指して運用を行います。 ●日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものをベンチマークとし、これの中・長期的に上回る運用成果を目指します。
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 1 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。 2 同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。 3 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。 4 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。 5 同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含みます。）への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。 6 投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。 7 外貨建資産への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の30%以内とします。

運用報告書

第24期（決算日：2024年3月11日）

（計算期間 2023年3月11日～2024年3月11日）

■最近5期の運用実績

決算期	基準 額	価 額		公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰	中 落 率		
20期(2020年3月10日)	円 10,409		% 0.1	% 99.6	百万円 2,248
21期(2021年3月10日)	10,401	△0.1		98.5	2,348
22期(2022年3月10日)	10,399	△0.0		97.8	2,645
23期(2023年3月10日)	10,413	0.1		99.1	2,829
24期(2024年3月11日)	10,430	0.2		98.8	2,686

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドは、日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものをベンチマークとしています。

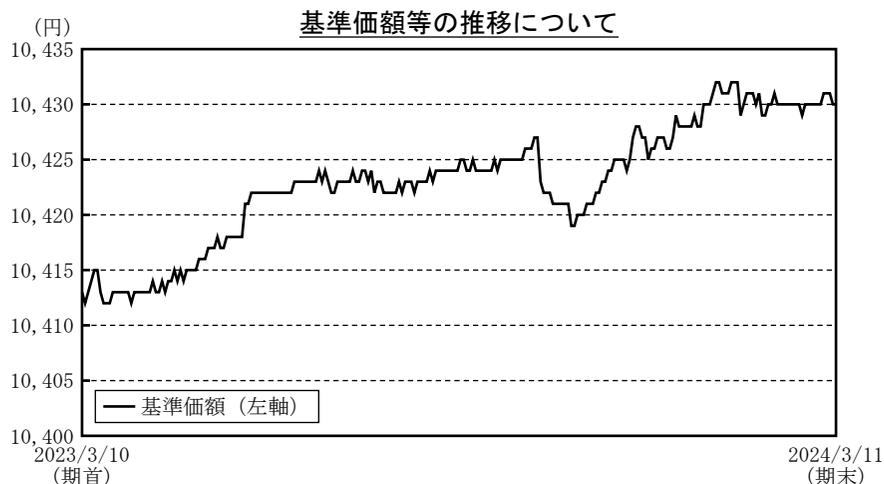
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 額	価 額		公 社 債 率 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2023年3月10日	円 10,413		% —	% 99.1
3月末	10,413	0.0		97.0
4月末	10,415	0.0		96.3
5月末	10,421	0.1		97.9
6月末	10,423	0.1		99.3
7月末	10,423	0.1		97.5
8月末	10,424	0.1		97.5
9月末	10,425	0.1		98.9
10月末	10,419	0.1		99.4
11月末	10,427	0.1		99.7
12月末	10,428	0.1		96.3
2024年1月末	10,430	0.2		92.3
2月末	10,430	0.2		99.3
(期 末) 2024年3月11日	10,430	0.2		98.8

(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は前期比です。

(注2) 当ファンドは、日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものをベンチマークとしています。

■当期の運用状況（2023年3月11日～2024年3月11日）



【基準価額の主な変動要因】

当ファンドでは、リターン向上に資するために、日本国債の保有比率を下げ、機構債および高格付社債保有比率を引き上げました。同時に、日銀の政策修正に備えて、保有債券の平均残存年限を短めに運用するよう努めました。これらの結果、金利収入増加が金利上昇による債券価値下落を上回り、年度のリターンはベンチマークを12bps上回る結果となりました。

【投資環境について】

当期の日本短期債券市場利回りは大きく上昇しました。長く続くインフレの影響で、各国中央銀行は高金利政策を継続しました。日本銀行は7月、10月の2回にわたって10年YCCレンジの拡大と柔軟化を行い形骸化した上で、3月にマイナス金利を解除し17年ぶりの利上げを行いました。今後、日本銀行が継続的に政策金利を上げる可能性が相応に高まっていると考えております。

【ポートフォリオについて】

高格付サムライ債をポートフォリオの40%程度保有することによりベンチマークを上回る運用リターンを目指すとともに、国債、地方債、機構債を20%程度保有することによりファンドの流動性を確保しております。平均残存年限は7.5か月、加重平均格付けはAフラットとなっております。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは当期にベンチマークを0.12%上回りました。

【今後の運用方針】

現在の資産構成比率を基本的に維持し、運用利回り向上と流動性確保の両立を目指します。ファンドの平均残存年限については、日本銀行の追加利上げの可能性が高まっているとの見方から、基本的には短めの残存年限を維持しつつ、柔軟に対応していく予定です。

■ 1万口当たりの費用明細 (2023年3月11日～2024年3月11日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.002% (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	0	0.002	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は10,423円です。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2023年3月11日～2024年3月11日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 1,206,030	千円 1,256,172 (200,000)
	地方債証券	200,248	— (200,000)
	特殊債証券	—	— (400,000)
	社債券	2,606,743	200,040 (1,900,000)

(注1) 金額は受け渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄 (2023年3月11日～2024年3月11日)

公社債

買付		期 売 付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
442 2年国債	650,710	439 2年国債	350,548
10 日本特殊陶業	400,240	442 2年国債	350,333
452 2年国債	234,904	446 2年国債	220,284
446 2年国債	220,331	10 日本特殊陶業	200,040
727 東京都公債	200,248	452 2年国債	134,928
12 プリヂェストン	200,174	432 2年国債	100,090
COOPERATIEVE RABOBANK UA	200,068	450 2年国債	99,987
197 オリックス	200,064		
8 日本電産	200,030		
11 資生堂	200,014		

(注1) 金額は受け渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年3月11日～2024年3月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2023年3月11日～2024年3月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2024年3月11日現在）

公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当			期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国 債 証 券	550,000 (550,000)	549,991 (549,991)	20.5 (20.5)	— (—)	— (—)	— (—)	20.5 (20.5)	
特 殊 債 券 (除く金融債券)	100,000 (100,000)	99,959 (99,959)	3.7 (3.7)	— (—)	— (—)	— (—)	3.7 (3.7)	
普 通 社 債 券	2,000,000 (2,000,000)	2,004,529 (2,004,529)	74.6 (74.6)	— (—)	— (—)	— (—)	74.6 (74.6)	
合 計	2,650,000 (2,650,000)	2,654,480 (2,654,480)	98.8 (98.8)	— (—)	— (—)	— (—)	98.8 (98.8)	

（注1）（ ）内は非上場債で内書き。

（注2）組入比率は、純資産総額（ただし追加型公社債投信については資産総額）に対する評価額の割合。

（注3）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘柄	当期			末
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
442 2年国債	0.0050	450,000	450,168	2024/11/01
452 2年国債	0.0050	100,000	99,823	2025/09/01
小計	—	550,000	549,991	—
特殊債券（除く金融債券）				
52 政保政策投資C	0.0010	100,000	99,959	2025/01/24
小計	—	100,000	99,959	—
普通社債券				
12 ブリヂストン	0.1300	200,000	200,025	2024/04/19
10 日本特殊陶業	0.1100	200,000	200,043	2024/06/20
8 日本電産	0.1000	200,000	200,014	2024/07/19
29 フランス相互信用BK	0.2500	100,000	99,970	2024/10/10
1 新韓銀行	0.8700	200,000	200,037	2024/10/18
1 サントアンデール	0.4630	200,000	199,859	2024/12/05
8 BPCE S. A.	0.4990	100,000	99,702	2024/12/12
197 オリックス	0.1900	200,000	200,017	2025/01/30
15 富士フイルムホールデイ	0.1200	200,000	199,876	2025/03/05
18 シテイグループ・インク	2.3600	100,000	102,098	2025/09/16
42 東日本旅客鉄道	2.1100	100,000	102,705	2025/09/19
38 フランス相互信用BK	0.8020	100,000	100,387	2025/10/10
184 東日本旅客鉄	0.2100	100,000	99,790	2025/10/14
小計	—	2,000,000	2,004,529	—
合計	—	2,650,000	2,654,480	—

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2024年3月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	2,654,480	98.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	38,373	1.4
投 資 信 託 財 産 総 額	2,692,854	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年3月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,692,854,134円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	15,449,779
公 社 債(評価額)	2,654,480,539
未 収 入 金	19,964,000
未 収 利 息	2,570,583
前 払 費 用	389,233
(B) 負 債	6,640,000
未 払 解 約 金	6,640,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,686,214,134
元 本	2,575,348,382
次 期 繰 越 損 益 金	110,865,752
(D) 受 益 権 総 口 数	2,575,348,382口
1万口当り基準価額(C/D)	10,430円

- 期首元本額 2,717,400,235円
期中追加設定元本額 182,729,354円
期中一部解約元本額 324,781,207円
- 1口当たりの純資産額 1,0430円
- 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
 アクサローゼンバーグ・日本円・マネー・プール・ファンド (B) 1,205,478,023円
 アクサローゼンバーグ・ライフ・ソリューション安定型 (B) 348,283,216円
 アクサローゼンバーグ・ライフ・ソリューション 安定成長型 (B) 733,041,015円
 アクサローゼンバーグ・ライフ・ソリューション成長型 (B) 288,536,517円
 アクサ世界株式ファンド 9,611円
 期末元本合計 2,575,348,382円

■損益の状況

(2023年3月11日～2024年3月11日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	10,339,010円
受 取 利 息	10,412,173
支 払 利 息	△ 73,163
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 5,391,834
売 買 益	872,880
売 買 損	△ 6,264,714
(C) そ の 他 費 用	△ 46,955
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	4,900,221
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	112,110,504
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 13,780,619
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	7,635,646
(H) 計 (D+E+F+G)	110,865,752
次 期 繰 越 損 益 金(H)	110,865,752

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。